飯田橋文学会
Iidabashi Literary Club

〈現代作家アーカイヴ〉by 飯田橋文学会
文学インタヴュー第3回

瀬戸内寂聴（作家）

【聞き手】平野啓一郎（作家／京都造形芸術大学客員教授）

公開収録一般参加者募集のお知らせ

2015年8月29日㊏

京都造形芸術大学
人間館地下1階
映像ホールにて

(13:30開場)14:00-16:15

※13:30より「源氏物語の女性たち1」を場内で上映致します

先着順・事前申し込み制・入場無料
定員50名

対象：学生・教職員・一般の方
※学生の皆さんの参加を歓迎いたします

※本イベントは、現代作家アーカイブ構築のためのインタビュー収録を公開で行うものです。当日の模様は撮影され、映像はインターネット等で公開される予定です。映像に関する権利はすべて飯田橋文学会に帰属し、個人の映像の削除等のご依頼にはお答えできません。また、当日の質疑応答の時間は限られているため、質問の数を制限させていただく可能性がございます。以上ご了承のうえ、参加をお申し込みください。

申込ホームページ
http://creativewriting.jp/seto/form.cgi

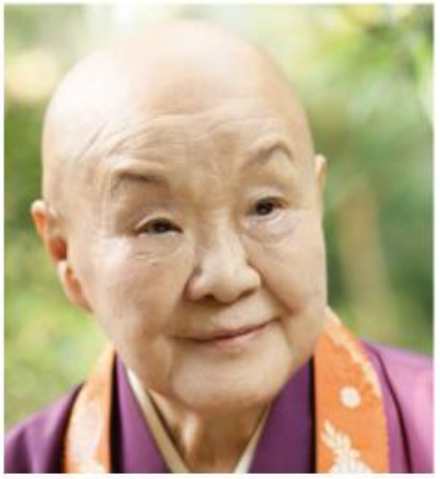
瀬戸内寂聴自選の代表作

「夏の終わり」
(*1963*)

「美は乱調にあり」／「諧調は偽りなり」
(*1966*) (*1984*)

「瀬戸内寂聴 現代語訳源氏物語（完結版）」
(*1998*)

※収録当日は、これらの作品を軸に作家が語ります
ぜひ、ご一読のうえでのご参加をお薦めします



飯田橋文学会〈現代作家アーカイヴ〉とは？

平野啓一郎（作家・飯田橋文学会）

本プロジェクトでは、現在活躍中の作家を毎回一人ゲストに招き、自らの代表作を三作選んでもらった上で、
創作活動の全般について、インタヴューを通じて語ってもらいます。
読者にとっては、その作家の何をまず読むべきか、また作品相互をどう関連づけるべきかを知る、格好のヒントとなるでしょう。
インタヴューは、公開収録によって映像化され、原則的にすべて英訳字幕を付されて、ネット上に公開されます。
国内外の多くの文学ファンにとって、貴重なアーカイヴとなることを期待しています。

お問合せ：info@creativewriting.jp